

B十 大学受験面接

これの神床に目標としてお鎮まり下さいます 親神天理王命の御前に天理教○○分教会長○○○○慎んで申し上げます

日々は親神様のこよなく温かい親心に生かされ守られて ○○○家一同不自由なく明るく暮らさせて頂き 誠に感謝の念に堪えませぬこの度○○○○、○○○の長男○○○が○○○大学を受験することとなりました 明日面接することとなっておりますが それに先立ち親神様の御前にて御被いの御式を心を籠めて勤めさせて頂きます 明日を迎えるにつきましたは 人生の新たな門出の喜びに大きく胸をふくらませておりますと共に 三年ぶりのことで大きな不安も心に住みついております

思えば眼は耳はもとより 両手両足など体の一切は親神様からの借物であり 出てくる言葉もまた親神様の深い御恵みによるものであることを自覚し 大学進学の際には 陽気ぐらしを望まれる思召に添って 正しくしかも勇んだ学校生活をさせて頂きたいと心定めております 又本人のみならず両親も 我がものと御教え下された心一つを 世界一列きようだいの路線を違えず 世の人々の幸せのために 今まで以上使わせて頂きたいとの心を定めております どうか親神様には かくお誓いする 眞実を充分にお受取り下さいまして 明日の日を健やかに迎えさせて頂き 今日まで培ってきたことが面接で充分に言葉として態度として発揮できますようお導きの程を○○○家の一同に代り慎んでお願い申し上げます